

多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略
【2022（令和4）年度の進捗状況】

1 多摩市の人口ビジョン

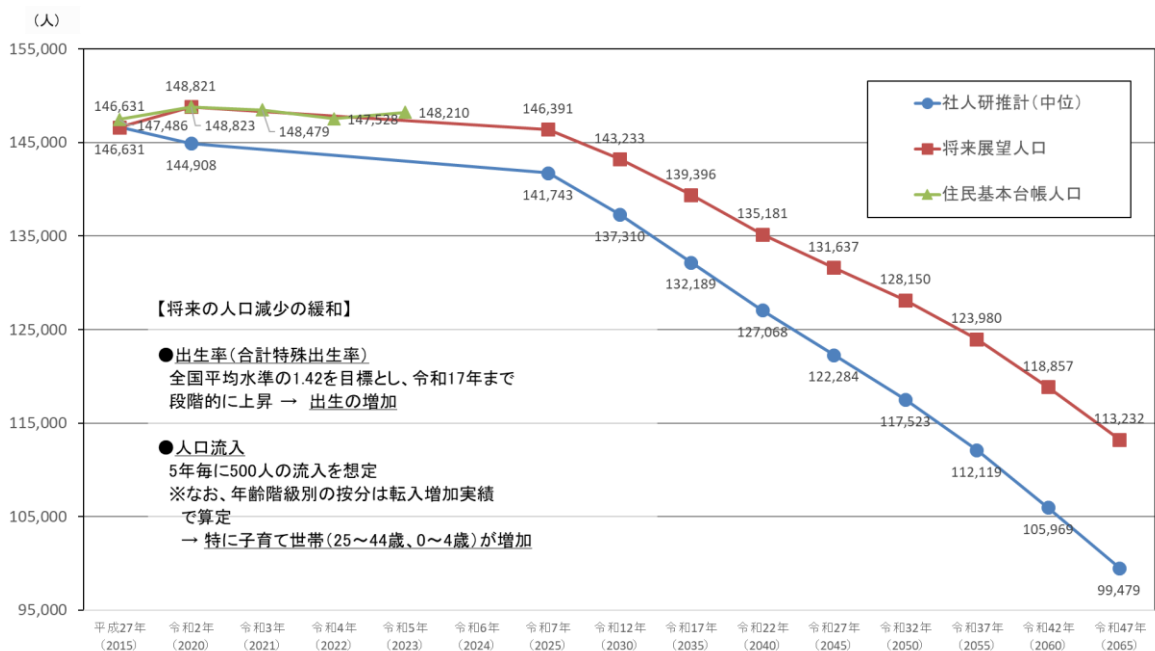
(1) 人口について

第2期総合戦略策定時（2021（令和3）年3月）の、「国立社会保障・人口問題研究所（2045（令和27）年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部）」の推計によると、本市の人口は、2015（平成27）年の146,631人をピークに、以降、人口減少傾向に転じ、2065（令和47）年には99,479人（32%減）になる見通しである。これに対し、本市の総合戦略における人口ビジョンでは、将来的な人口減少を前提としながらも、若い世代の流入と出生数の増加を目指すことにより、2065（令和47）年の将来展望人口（目指すべき将来人口）を、国立社会保障・人口問題研究所の推計の人口推計よりも1.4万人多い113,232人としている。

本市の人口は、総合戦略策定時2015（平成27）年度以降より増加傾向にあったが、2021（令和3年）より減少がはじまり、2023（令和5）年時点で148,210人となった。

図1 将来人口推計&人口推移

			(単位:人)															
			平成27年(2015)	令和2年(2020)	令和3年(2021)	令和4年(2022)	令和5年(2023)	令和7年(2025)	令和12年(2030)	令和17年(2035)	令和22年(2040)	令和27年(2045)	令和32年(2050)	令和37年(2055)	令和42年(2060)	令和47年(2065)		
社人研推計(中位)	出生に関する条件 合計特殊出生率 1.29~1.30	人口移動に関する条件 直近の国勢調査に基づく移動の傾向が徐々に縮小	総人口	146,631	144,908				141,743	137,310	132,189	127,068	122,284	117,523	112,119	105,969	99,479	
			年少人口比率	11.8%	11.4%				10.7%	10.2%	9.9%	9.9%	9.9%	9.8%	9.8%	9.9%	10.0%	
			老年人口比率	26.5%	29.6%				30.9%	32.6%	35.1%	38.4%	40.7%	41.9%	41.5%	40.4%	39.1%	
将来展望人口	合計特殊出生率 1.42 (平成30年の全国平均水準)	人口移動あり(社人研推計)+人口流入(5年ごと500人)	総人口	146,631	148,821				146,391	143,233	139,396	135,181	131,637	128,150	123,980	118,857	113,232	
			年少人口比率	11.8%	11.2%				10.4%	9.8%	10.3%	10.6%	10.7%	10.6%	10.7%	10.8%	11.0%	
			老年人口比率	26.5%	28.6%				30.0%	31.4%	33.6%	36.9%	39.2%	40.7%	40.7%	39.9%	38.2%	
住民基本台帳人口(各年1月1日)	-	-	総人口	147,486	148,823	148,479	147,528	148,210										
			年少人口比率	12.2%	11.6%	11.4%	11.1%	10.8%										
			老年人口比率	62.4%	60.0%	59.7%	59.8%	60.0%										

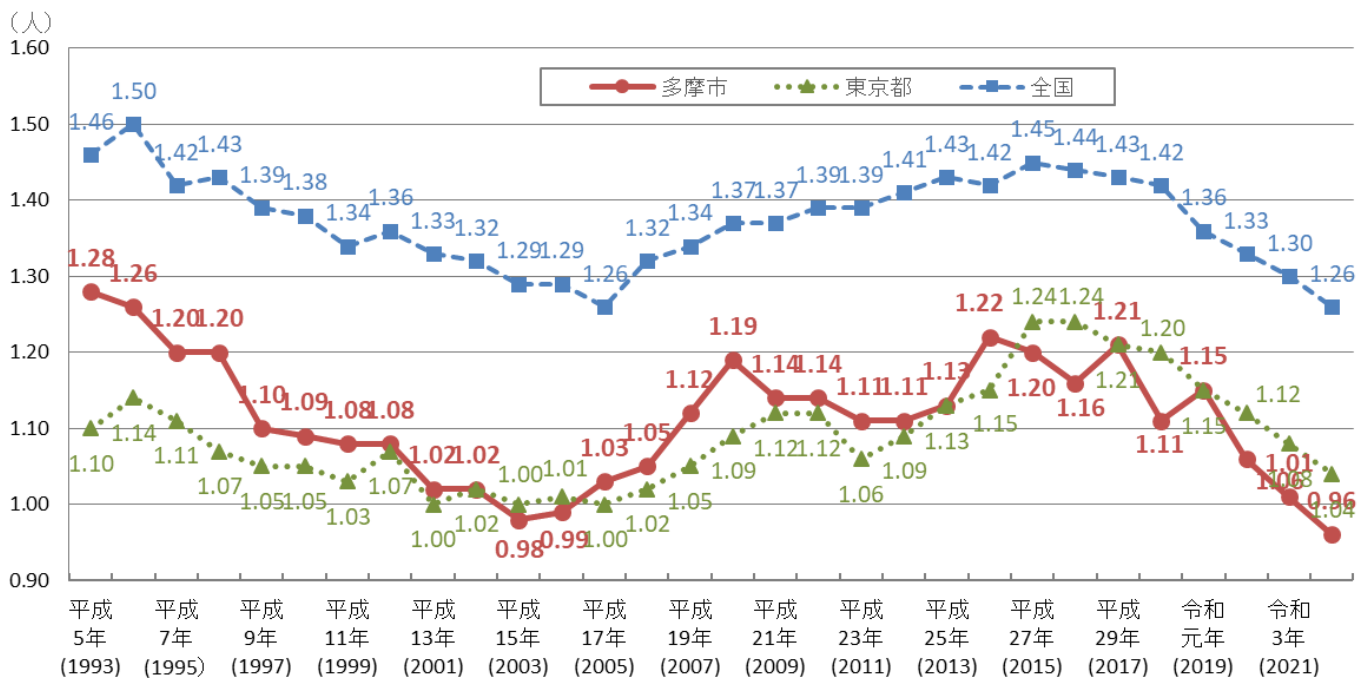


(2) 出生率について

本市の人口ビジョンにおける2065（令和47）年の出生率の目標は、2018（平成30）年の全国平均と同じ1.42である。

2021年（令和3年）、の本市の出生率は、1.01であった。これは、全国平均1.30を0.29ポイント下回り、東京都平均1.08を0.07ポイント下回った。

図2 合計特殊出生率の推移



出典：人口動態調査

2 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(1) 各事業の進捗状況について

総合戦略は、本市の第五次多摩市総合計画第3期基本計画の施策を基本としつつ、下記4つの基本目標と、2つの横断的な目標ごとに各種事業等を設定している。

基本目標1	多様な働く場・働き方を実現し、安心して働くことができるまちをつくる
基本目標2	まちの魅力を高め、これを発信し、多摩市に関わる人を増やす
基本目標3	多摩市で産み、育てたいと思えるまちをつくる
基本目標4	ひとりでも安心して幸せに暮らし続けられるまちをつくる
横断的な目標1	多様な人材の活躍を推進する
横断的な目標2	新しい時代の流れを力にする

また、総合戦略の各事業等の進捗状況評価にあたっては、総合戦略検討委員会において、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの計画期間（5ヵ年）の間で、年度ごとに、目標値に対して20ポイントずつ進んでいるかどうかで評価するという評価基準が設けられている。

2022（令和4）年度は、第2期の3年度となるため、各KPIの実績値が60%に達成したかどうかにより達成度を判断することになるが、各基本目標に掲げた事業等の達成状況は次ページの「第2期多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度における進捗状況」のとおりとなる。

多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度における進捗状況

基本目標		項目	項目数	進捗状況			
				目標を達成したもの (100%以上)A	概ね進んだもの (60%以上 100%未満)B	順調に進まなかった もの(60%未満)C	実績値を 把握できないもの
基本目標	1：多様な働く場・働き方を実現し、安心して働くことができるまちをつくる	数値目標	3	1	0	0	2
		KPI	7	2	1	3	1
	2：まちの魅力を高め、これを発信し、多摩市に関わる人を増やす	数値目標	4	2	2	0	0
		KPI	10	5	1	3	1
	3：多摩市で産み、育てたいと思えるまちをつくる	数値目標	2	0	0	1	1
		KPI	9	5	0	3	1
	4：ひとりでも安心して幸せに暮らしを続けられるまちをつくる	数値目標	3	1	0	1	1
		KPI	10	2	2	2	4
横断的な目標	1：多様な人材の活躍を推進する	数値目標	1	1	0	0	0
		KPI	3	2	0	0	1
	2：新しい時代の流れを力にする	数値目標	1	1	0	0	0
		KPI	0	0	0	0	0
合計		数値目標	14	6	2	2	4
		KPI	39	16	4	11	8